

ー黒潮と共に生きるー

漁師が生まれる大地の物語



3800万年前～
深い海の記憶

日本列島がまだ大陸の端にあった時代、海洋プレートの沈み込みによって深い海の底にたまった砂や泥、火山島の一部が陸側に押し付けられた。こうしてできた地層を「付加体」といい、日本列島の土台となっている。土佐清水の大地の土台も、約3800万年前以降にできた付加体である。そして、プレートの沈み込みは今も続いている。



1700万年前
浅い海の記憶

日本列島が大陸の端から離れ、現在の位置まで急速に移動していた頃、大地は激しく変動していた。三崎地区に分布する地層は、活発に隆起していた山地から運ばれていた大量の砂や泥が浅い海や河川に堆積したもの。地震や海底地すべりによって変形した地層が、激動の時代を物語る。この大地の変動は、当時の生き物にも影響を与えていたと考えられる。



1300万年前
マグマの記憶

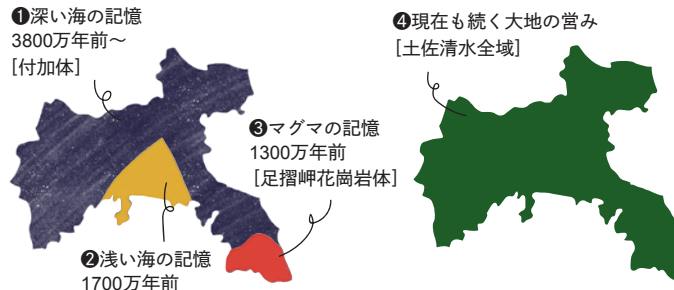
活発な大地の変動は、現在は火山のない太平洋側でマグマの活動を引き起こした。約1500万年前から始まったこのマグマの活動は大地を盛り上げ、太平洋に向かって突き出す岬のもととなる地形を作ったといわれている。足摺岬の花崗岩は、マグマ活動も終わる1300万年前のマグマが地下深くで冷えて固まったもの。その後も続く大地の隆起によって、現在は地表に顔を出している。



現在
暮らしと大地の営み

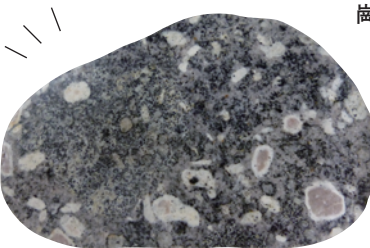
土佐清水は、現在もプレートの沈み込みによる変動（隆起）や、堆積、風化・侵食といった大地の営みが活発な場所。大地の営みが生み出した地質や地形は、黒潮と出会うことで、豊かな漁場、人や文化を運ぶ海流、そして温暖湿潤な気候といった恵みを土佐清水にもたらし、独自の暮らしや文化を育んできた。

土佐清水の大地は、できた時代によって、主に次の4つの時代に分けられる。それぞれの時代を体系的に表した左の絵から、土佐清水の大地の成り立ちを一気に見てみよう。



土佐清水の大地、ココがすごい！

日本でココだけ！
足摺岬のラバキビ花崗岩

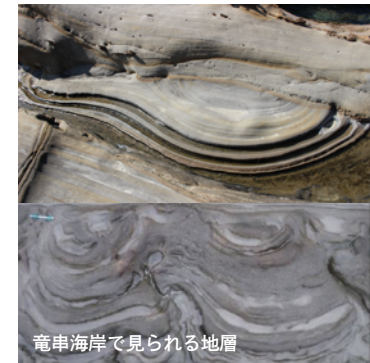


足摺岬で見られる「ラバキビ花崗岩」という岩石は、日本では珍しく、ここ에서만見られない。高知県の「県の花崗岩」にも定められている貴重な岩石だ。ラバキビ花崗岩は、主に北欧など大陸に分布している。大陸のラバキビ花崗岩は13～17億年前と、とても古い時代にできたもののだが、足摺岬のものは約1300万年前と、世界一新しく、新たな発見の可能性を秘めている。

足摺岬からほど近く、白山洞門がある「アロウドの浜」ではラバキビ花崗岩の丸石が点在しているので探してみよう。白く縁取られたピンクがかった卵形の模様が目印。見た目が華やかで、チャーミングな岩石だ。ただし、岩石の持ち帰りはダメ、絶対！

激動の時代を体感！
高解像度の地層が残る三崎層群

電串・見渡し海岸がある三崎層群は約 1700 万年前に激しく大地が動いていた頃に浅い海にたまった地層。当時、急速に隆起していた山地から大量の土砂が海に運ばれ、急速に土砂がたまっていたため、太古の時代の瞬間、一瞬が地層に刻まれている。たまった地層に強い力がかかり、地層が傾いていて、東側が古く、西に向かって新しくなる。そのため、海岸沿いを歩きながら、時代を追って、地層観察ができる。



電串海岸では、写真のようなグニャグニャした奇岩が見どころ。これらは約1700万年前、激しく大地が動いていた頃の地震や津波の痕跡だ。今は穏やかな海が広がる海岸を歩きながら、激動の時代の「生きている地球」を体感しよう。

大地を楽しむための心得



地球はみんなの宝物、大切に。



長い時間をかけてつくられ、過去の記憶を現代に伝える大地の遺産、そして、その上で暮らしている動物や植物…あらゆるものが土佐清水ジオパークの宝物。無許可の採取や損傷は絶対にやめよう。



残していいのは、足跡だけ。

美しい景観、美しい地球を保つため、ゴミはきちんと持ち帰ろう。未来にゴミだらけの地層を残すことのないように。



災害の発生リスクあり！

「生きている惑星、地球」には自然災害は付き物。特に土佐清水では、南海トラフ地震や津波の危険性が高い。事前に避難経路を確認し、揺れを感じたら、すぐに高台へ逃げよう。

アクセス



高知空港 25min バス 高知駅 1h50min 中村駅 1h
清水プラザバール前 20min SATOUMI前 2min うみのわ

岡山駅 3h 高知駅 1h50min 中村駅 1h
清水プラザバール前 20min SATOUMI前 2min うみのわ

高知 IC 65km 50min 四万十中央 IC 80km 1h40min うみのわ

土佐清水ジオパークと足摺宇和海国立公園の魅力を紹介！
ガイドツアー、アクティビティもご案内
開館時間 9:00-17:00
休館日 10月から6月の火曜日（祝日を除く）
年末年始（12/29-1/3）
TEL 0880-87-9500



土佐清水ジオパーク推進協議会事務局
〒787-0450 高知県土佐清水市三崎字今芝 4032-2
電串ビジターセンターうみのわ内 国立公園★ジオパーク推進課
TEL 0880-87-9500 MAIL geopark@city.tosashimizu.lg.jp

清水さば



もっちもちの歯ごたえの新鮮な清水さばの刺身。漁があれば、エリア内の飲食店で食すことができる。

土佐清水沖は海底が盛り上がり、水深 100m ほどの海域が広がっている。その海底では、地層が切れたり曲がったりしてできた数多くの岩礁が「瀬」をつくりだしている。海底の盛り上がりや瀬に黒潮がぶつかり、栄養分が巻き上げられる土佐清水沖は、まさに魚たちのパラダイス。回遊魚であるゴマサバは、大きくなると土佐清水近海の瀬に留まるようになる。

この瀬付きのゴマサバのうち、脂のりのいい高鮮度のものを「土佐の清水さば」と認定。伝統の立縄漁法で丁寧に釣り上げられ、生きたまま漁港へ持ち帰れる。港についた船からさばを漁港内の活魚水槽へ移す際に見られる「さばダッシュ」は漁師町清水の日常。黒潮に揉まれた「清水さば」は身もしまってピッチピチ。



清水港で見ることができる「さばダッシュ」

土佐清水で生まれた幕末の偉人、ジョン万次郎。土佐清水を飛び出し国際人として活躍した生涯もまた、大地と黒潮とともにあった。

カツオ漁で土佐沖に出た際に嵐に遭い、蛇行していた黒潮に流され、火山島・鳥島に漂着。143日の無人島生活の末、米国の捕鯨船に救出され、渡米。その才知から米国で船乗りとして活躍した後ゴールドラッシュで千金を手にし、日本への帰国を果たす。帰国後は通訳として開国に重要な役割を果たした。

ジョン万

ジョン万次郎が生まれ育った中浜の集落。復元されたジョン万次郎の生家もあるほか、特産の宗田節を作る「節納屋」もある。



ジョン万のことをもっと知るなら
ジョン万次郎 資料館
開館時間 8:30-17:00
入場料 440円
定休日 なし
土佐清水市養老303
養老バス停から徒歩 4分

松尾

足摺半島の切り立った断崖の上に広がる集落。花崗岩がむき出しになった磯辺や、玉石でできた石垣が連なる小路など見どころが多い。紀州印南からきた漁師が鰯漁や鰯節の製法を伝え、近世より漁業や廻船業で栄えた。当時の繁栄をしのばせる国の重要文化財「吉福家住宅」がその象徴的存在。



松尾金毘羅宮灯籠

松尾の集落を高台から見守る金毘羅宮に建てられた石灯籠。火を灯し、沖行く船へ灯台の役目を果たした。その大きさは鰯漁の盛況を物語る。電串方面で採掘された砂岩の「三崎石」が使われている。

松尾区長場前神社前

電串湾



風化してボロボロになりやすい地層が、潮風や波に洗われて複雑な海岸地形を作りだした。そうしてできた電串湾は、黒潮由来の温かい海水が流れ込むことで多種多様なサンゴを育み、ウミウシをはじめとする様々な生き物たちのゆりかごになっている。

こうした海底の様子は、千尋岬の見渡し海岸に渡るガラスポートで楽しむことができる。シコロサンゴの周りを泳ぐ魚の群れは一見の価値あり。また、電串湾のランドマークでもある足摺海底館では、魚と同じ目線で海中の景色を眺めることもできる。

電串、SATOUMI 前 海底館前
ガラスポート
電串観光汽船 0880-85-0037
たつし海中観光 0880-85-1155
足摺海底館
開館 9:00-17:00

海への祈り



赤茶けた花崗岩からなる臼碓は、釣りの名所。今日も太公望たちが海岸や磯（海から顔を出した岩礁）にて、糸を垂らしている。岩場から沖合の漁場を望む電宮神社は、海の神様として祀られており、かつて漁師の妻たちがここに集い、夫の無事と豊漁を願って宴を催していた。

臼碓バス停から徒歩 10分



清水の港にばつかり浮かぶ鹿島には、清水の漁師から信仰を集める「鹿島神社」が鎮座する。年に2回、海に感謝を捧げ、豊漁を願う鹿島神社大祭が行われる。神輿船とそれに追従する漁船団が清水湾内をパレードする様はまさに勇壮。

旭町バス停から徒歩 7分

鹿島神社大祭

春祭り 2月の第3日曜日
秋祭り 10月の第3日曜日

1 五味天満宮 ごみてまんぐう

幕末に起きた安政の南海地震と大正期の水害のことを今に伝える石碑が境内に残されている。静かな鎮守の森の中、幾度となく起こる津波や洪水を乗り越え、この地に住み続けるための教訓を今に伝えてくれる。



市野々バス停から徒歩 7 分

2 大岐の浜 おおきのはま

長さ 1.5km にも及ぶ美しい砂浜は、アカウミガメの産卵地としても知られる。全国的にも珍しい照葉樹林の浜林には、カカツガユなどの希少植物も自生。ビーチコーミングや生き物観察、浜林の散策も楽しめる。絶好のサーフポイントでもある。



芝バス停から徒歩 5 分



叶崎バス停徒歩 2 分

12 叶崎 かなえぎ

叶崎から見えるシマシマの断崖は、深い海にたまった砂や泥が、プレートの沈み込みによって陸側に押し付けられてできた地層。晩秋から初冬にかけて可憐な花を咲かせるツメレンゲや、明治時代に建造された灯台も見どころ。



海底館前バス停徒歩 5 分

11 爪白海岸 つまじろかいがん

爪白海岸では、河口や干潟でできた地層が竜串海岸とはまた違った自然の造形を作り出している。遊歩道の先にあるレトロフューチャーな建造物は足摺海底館。岩礁に集う様々な海の生き物を観察できる。



竜串バス停徒歩 5 分

10 竜串海岸 たつくしかいがん

300 年以上前から愛される奇勝奇岩は、約 1700 万年前の浅い海の地層が波や潮風に洗われてできた。地震によってグニャグニャになった地層や、生き物が暮らした痕跡（生痕化石）から、はるか昔に思いを馳せてみるのもよい。

3 津呂の駄場 つろのだば

「駄場」とは、大地の隆起と海水準の変化によってできた台地。暮らしの場となっている平地は、かつては浅い海の底だった。大谷地区の水田や、潮風対策のために椿などで築かれた津呂地区の生垣は、駄場を象徴する景観。



津呂バス停下車

5 松尾 まつお

花崗岩の上に広がる集落、松尾。集落の海沿いには花崗岩が突き出た岬がいくつもあり、風光明媚な磯が広がる。女城神社の先にある女城鼻では、花崗岩の割れ目に板状に入り込んだ玄武岩が観察できる。



松尾のアカウ女城鼻 神社前バス停徒歩 1 分 松尾区長場前バス停徒歩 3 分



9 鹿島 かしま

清水港に浮かぶ鹿島は、豊漁祈願の島として大切に守られてきた。そのため島の森は今でも土佐清水本来の森の面影を残している。埋め立てによって陸続きとなった今では、散策コースとして清水の人々に愛されている。

旭町バス停徒歩 7 分

4 足摺岬 あしずりみさき

目の前に広がる太平洋に白い断崖と灯台が映える絶景。漁師文化と深いつながりを持つツバキ林が彩る遊歩道や、しばしば顔を出すウミガメも見どころ。白い断崖はマグマが地下で冷え固まった花崗岩。



足摺岬バス停から徒歩 5 分

6 唐人駄場 とうじんだば

かつて縄文人たちが暮らし、現在は自然に囲まれた園地となっている唐人駄場。その背後の山中にある「唐人石」は風化・侵食作用によってできた花崗岩の巨石群。巨石の上からは、周りの山々と太平洋が見渡せる。



唐人駄場入口バス停から徒歩 40 分



7 臼磔 うすばえ

花崗岩が作る壮大な景観が魅力。すぐ沖にある岩礁に、海流が渦巻く様子が臼に見えることからその名が付いたと言われる。漁師町・土佐清水の歴史は、この臼磔の沖でカツオの漁場が発見されたことに始まる。

臼磔バス停から徒歩 10 分



8 唐船島 とうせんじま

昭和南海地震時に 80cm 隆起した痕跡が見られる場所として、国の天然記念物に指定されている。古くから唐船（外国船）が出入りしていたことがその名の由来。サギの仲間の営巣地を間近で観察できる。

厚生橋バス停下車すぐ

土佐清水ジオパークからのメッセージ

地球の記憶は未来への道しるべ

地球の活動がつくりだした地質・地形遺産は、私たちの暮らしや私たちが人間の暮らしを支えている。人々を取り囲む様々なものが大地に根ざし、そして相互に複雑にかかわりながら、地域ごとに独自の景観や文化をつくりだしてきた。大地の物語を紐解きながら、土佐清水をめぐってみよう。

大地の物語を感じよう

地球の営みによってできた大地は、そこに広がる豊かな生態系や私たち人間の暮らしを支えている。人々を取り囲む様々なものが大地に根ざし、そして相互に複雑にかかわりながら、地域ごとに独自の景観や文化をつくりだしてきた。大地の物語を紐解きながら、土佐清水をめぐってみよう。



土佐清水ジオパークを楽しむ

3 つの視点

足元を見つめる



よく見てみよう。きれいな景色やおいしい食事だけで満足しては、もったいない。目を凝らしてみると、地層に記録された大昔のできごとや、環境に適応するための生き物たちの工夫、この土地で生きていくための人々の知恵に出会うことができる。そんな小さな発見を積み重ねたとき、きっと感動が待っているはず。

地域を見つめる



体感してみよう。景色も食事も、当たり前にあるものではない。その背景には、産業や伝統文化、人々の想い、生態系、そしてすべての土台となる大地がある。いろいろな要素が結びつきあって、この土地にしかない特別なものとなっている。大地から広がるストーリーに触れたとき、きっと感動が待っているはず。

地球を見つめる



想像してみよう。ここで出会う全ては、ほんのカケラではあるが、まぎれもなく地球の一部。それはつまり、地殻変動のような地球の営みや自然災害、資源・環境問題といった世界規模の課題と無関係ではられないということ。そして、それはあなた自身も。そのつながりに気が付いたとき、きっと感動が待っているはず。